

令和7年度事業シート

施策 2-1 安心して子育てができ、
子どもが健やかに育つまち



No.	10	事業名	妊産婦及び新生児・乳児への育児支援			区分	継続
担当課		保健予防課	関係部署(所)	－			
事業目的		すべての妊婦・子育て家庭に対し、専門職が面接や家庭訪問による相談対応・情報提供等を行うことで、育児不安を軽減し安心して育児に取り組めるように支援する。 面接等を継続的に行うことを通じて必要な支援につなぎ、安心して出産・子育てができる環境づくりの手助けをする。					
事業内容		1 妊婦面接の実施 妊娠届の提出に来所された妊婦又はその家族の方に対して、保健師等が面接を行う。 2 新生児・乳児訪問の実施 出生報告を提出された新生児・乳児と産婦及びその家族に対して、3(4)か月児健康診査までに、保健師・助産師が家庭訪問を行う。 3 支援の場の周知 子育ての始まりの支援である妊婦面接や、新生児・乳児訪問及び 3(4)か月児健康診査にて、地域の支援の場を紹介し、子育て家庭が困ったときに気軽に相談できるよう周知を強化する。					
目標		①妊娠届を提出された妊婦又はその家族の方への面接の実施（実施率） ②出生報告提出家庭への新生児・乳児訪問の実施（実施率）	R7 目標		R6 実績		
			① 100% ② 98%	① 100% ② 98%			

No.	11	事業名	発達に支援の必要な子どもの親を対象とした支援		区分	継続
担当課	保健予防課		関係部署(所)	－		
事業目的	発達に支援の必要な子どもの親に対し、教室やグループ活動をとおして、正しい知識を習得し、情報交換をしながら共通の悩みや育児不安を解消できるようにする。					
事業内容	1 発達に心配がある子の親の会（パンダグループ）の開催 先輩の当事者の親に協力を得ながら交流会・勉強会を実施し、親支援の場として講演会を実施する。また、事業を継続する中で、交流会をけん引する当事者の親リーダーを育成する。					
目標	①パンダグループの開催（講演会を含む） ②参加者アンケートにおける満足度（「とても良かった」・「良かった」）			R7 目標	R6 実績	
				① 8回 ②80%以上	① 8回 ② －	

令和 7 年度事業シート

No.	12	事業名	子育て支援に関する情報発信	予算	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	－			
事業目的	子育てに関する情報を必要な時にすぐ得ることができるようにするとともに、子育て家庭へより多くの情報を届けることで、子育て家庭が気軽に支援につながるきっかけを作る。					
事業内容	1 子育て支援サイト「なかがわっ子」の活用促進 区の SNS や子育て関係機関の SNS 等の広報媒体、市の子育て支援アプリ等と連携し、広く「なかがわっ子」につなげ、より多くの子育て家庭に閲覧、使用してもらえよう活用促進を行う。 2 紙面での情報発信 4 月 1 日時点の区内の子育て支援関係機関情報を地図上にまとめた「なかがわ子育てサポートマップ」や毎月の子育てサロンやイベント情報を掲載した「キッズカレンダー」を作成し、区・支所をはじめ区内の子育て関係施設で配架し子育て家庭に必要な情報を届ける。					
目標	子育て支援サイト「なかがわっ子」閲覧数	R7 目標		R6 実績		
		170,000 回		164,135 回		

No.	13	事業名	地域に密着した子育て支援	予算	区分	継続
担当課	民生子ども課	関係部署(所)	中川子育てネットワーク 中川保健センター 保育園（エリア支援保育所）			
事業目的	地域の子育てサロンを始めとする子育て支援の場や子育てイベントを充実させることで、地域の子育て支援の活性化を図るとともに、子育て家庭が支援の場につながることを支援する。					
事業内容	1 子育てサロンの運営支援 地域の民生委員・児童委員が運営する子育てサロンにエリア支援保育士、保健師、保育案内人等の専門的知識のある職員の参加や、子育てサロンを実施している場では置いておけない大型遊具・絵本等のレンタルを通して、子育てサロンの内容の充実を図る。 2 なかがわっ子サポーターの養成 区内の子育て支援の場やイベント等の運営補助を行うボランティアとして「なかがわっ子サポーター」に関する講座や活動の場を提供することを通し、子育て支援への理解の促進や地域での子育て支援の促進を図る。 3 区内の高校との連携事業 区内の連携校 3 校と連携して、そこに通う生徒が子育て支援に携わる機会や子育て家庭、子育て支援について学ぶ講座を開催することにより、若い年代の高校生が子育てについての理解を深め、子育て支援に積極的に参加する機運を醸成する。					
目標	なかがわっ子サポーター登録者数	R7 目標		R6 実績		
		43 人		36 人		

令和 7 年度事業シート

No.	14	事業名	子育て家庭の交流イベント、 講座の開催		予算	区分	拡充
担当課	民生子ども課		関係部署(所)	中川子育てネットワーク			
事業目的	区内の子育て関係機関で組織する「中川子育てネットワーク」で連携して、子育て家庭向けのイベントや講座を開催することで、子育て家庭同士及び子育て家庭と関係機関との交流の場を提供するとともに、日常の子育てに活かすきっかけを作る。						
事業内容	1 子育て家庭向けイベントの開催 子育て家庭の交流の場、日常の子育て支援につなげるきっかけ作りの場として、中川子育てネットワークと連携して子育てイベントを実施する。 2 子育て支援講座の開催 生後 4 から 7 か月の赤ちゃんとその保護者向けの「フレッシュママの子育て講座」やオレンジリボンキャンペーン期間中の「イライラしない子育て講座」等の子育て支援講座を開催し、参加者同士の交流や子育てについて学ぶ機会を提供する。 3 なかがわ子育てスタンプラリーの開催 子育て支援の場を訪問すると景品がもらえる「なかがわ子育てスタンプラリー」を開催し、子育て家庭が日常の支援の場につながるよう支援する。令和 7 年度は、より多くの子育て世帯に参加してもらうため、景品等の見直しを図り拡充していく。						
目標	なかがわ子育てスタンプラリー参加者数				R7 目標	R6 実績	
					900 名	868 名	

No.	15	事業名	児童虐待防止の啓発推進		区分	継続
担当課	民生子ども課		関係部署(所)	区民福祉課・保健予防課 西部児童相談所		
事業目的	関係機関と連携を密にし、困っている児童の声を漏らすことない対応を行うとともに、児童虐待防止推進月間を中心に、広く区民へ児童虐待防止について広報・啓発をより一層推進することで、児童虐待の未然防止、早期発見につなげる。					
事業内容	1 児童虐待防止の広報・啓発活動 (1) 児童虐待防止ダイヤル「189」をはじめ、児童虐待防止について商業施設等の活用や関係機関と連携する等、広く区民に広報・啓発を行う。 (2) 高校生との協働による啓発活動を行い、高校生の児童虐待防止に関する意識の向上を図る。 2 関係機関と連携した児童虐待対応 要保護児童対策地域協議会や校内チーム会議、児童虐待情報データベースの活用によって、関係機関との連携を密に行い、児童虐待への適切な対応につなげる。					
目標	より多くの区民に児童虐待防止ダイヤル「189」を啓発			R7 目標	R6 実績	
				実施	実施	

令和 7 年度事業シート

No.	16	事業名	思春期保健事業の実施		予算	区分	継続
担当課	保健予防課		関係部署(所)	－			
事業目的	思春期の子どもたちの心身両面の健康づくりを推進し、次代の親となる子どもたちの健やかな育ちを支援する。						
事業内容	1 思春期セミナーの開催 区内の小中高校に在学する児童・生徒を対象に、プレコンセプションケア（将来のライフプランを考えて日々の生活や健康に向き合うこと）を推進し、体や心、性の健康づくりに関する正しい知識を身に付けることができるよう講話や体験学習にて正しい情報を伝える。 [セミナー内容] ・プレコンセプションケア 運動、栄養、睡眠、メンタル、肥満・やせ、タバコ、アルコールの中から、学校の要望を聞き取り、講話を実施する。 ・性教育 思春期における体と心の変化や性の自己決定・多様性、人工妊娠中絶・避妊・性感染症等について講話を実施する。 2 相談先周知カードの配布 思春期に関する悩みや困りごと等が相談できる窓口をまとめた周知用カードを、区内の中学・高校に配布する。						
目標	思春期保健の啓発・セミナーの実施 ①小学校 ②中学校 ③高等学校				R7 目標	R6 実績	
					① 24 校 ② 11 校 ③ 2 校※	① 24 校 ② 10 校 ③ 2 校	

※区内 3 校ある高等学校のうち 1 校は、3 年に 1 回思春期セミナーを実施することとなっており、令和 7 年度の目標には組み込まれていません。

No.	17	事業名	青少年のつどいの開催		予算	区分	継続
担当課		地域力推進課	関係部署(所)	－			
事業目的		青少年が自分たちで協力しながら青少年のつどいを運営し、チラシデザインの製作などを行うことで自主性を育成するとともに、学校の垣根を超えた連帯感を醸成し、青少年育成を促進する。					
事業内容		青少年のつどいの開催 〔実施時期〕 令和 8 年 1 月 〔場 所〕 中川文化小劇場 フレンドシップ協定締結校を中心に企画を協議のうえ、区内中学校とともに実施する。					
目標		青少年のつどい参加団体数			R7 目標	R6 実績	
					8 団体	8 団体	

令和7年度事業シート

施策 2-2 高齢者や障害のある人も 安心して暮らせるまち



No.	18	事業名	高齢者が地域でいきいきと暮らしていくための支援		予算	区分	継続
担当課	福祉課		関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会			
事業目的	医療、介護、在宅医療・介護連携、認知症施策、介護予防、生活支援、住まいが包括的に確保される仕組み「地域包括ケアシステム」の推進を始め、さまざまな取り組みにより、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう支援する。						
事業内容	1 地域包括ケア推進会議等の開催 区の地域包括ケアシステム構築の推進母体として地域包括ケア推進会議を開催し、課題の集約と対応方針の協議を行い、全市レベルで検討すべき課題について、市施策への提案を行う。また、認知症専門部会、生活支援部会、孤立虐待防止ネットワーク部会を開催し、個別の課題を検討する。 2 地域活動の参加促進 地域活動への参加を促進するために、さまざまな地域活動の紹介や、地域で活躍している人との交流ができるセミナーを開催する。 3 各種デジタルツール体験会を開催 新規 広く区民を対象として、介護予防・フレイルの予防にもつながるデジタルツール体験会を開催する。 4 数え 100 歳のお祝い 数え 100 歳に達する高齢者のご長寿をたたえ、敬老金の贈呈(市事業)に併せて保育園児作成のメッセージカードを贈呈する。						
目標	地域包括ケア推進会議の開催				R7 目標	R6 実績	
					2 回	2 回	

令和 7 年度事業シート

No.	19	事業名	認知症を理解し地域で支える仕組みづくり		区分	継続
担当課	福祉課		関係部署(所)	支所区民福祉課、保健センター保健予防課、社会福祉協議会		
事業目的	認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みづくりを進める。					
事業内容	1 チームオレンジの運営 新規 認知症の方やその家族と連携して、意欲のある認知症サポーターの活躍の場であるチームオレンジの活動について検討・実施する。 2 認知症サポーター養成講座の開催 認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成するための講座を地域や関係機関と連携して周知し開催する。 3 認知症セミナー・講演会の開催 区医師会等と連携し認知症セミナーを開催するほか、認知症サポート医等と連携し認知症講演会を開催する。					
目標	認知症サポーター養成講座年間受講者数			R7 目標	R6 実績	
				1,200 人	1,153 人	

No.	20	事業名	地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制の推進		区分	継続
担当課	福祉課		関係部署(所)	社会福祉協議会、区民福祉課、民生子ども課、地域力推進課、保健センター保健予防課		
事業目的	分野別の既存の枠組みを超えた、相談支援、参加支援及び地域づくり支援を一体的に実施することにより、制度の挟間の問題や複合的な課題を抱える世帯に寄り添い、伴走する支援体制の構築を進める。					
事業内容	1 区連携会議の開催 重層的支援体制整備事業における相談支援機関の連携体制の協議、情報共有及び区で必要な取り組みの検討を行う区連携会議を開催する。 2 包括的相談支援チームによる支援 保健福祉に関する資格を持つ者や、相談支援経験を積んだ者等で構成される「包括的相談支援チーム」により、適切な支援が届いていない世帯や複合的な課題を抱える世帯を伴走的支援や複数機関と連携した支援を行う。 3 中川区福祉専門職連携の集いの開催 児童・障害・高齢などの福祉専門職が分野を超え、ともに学びあい、連携を深める会を開催する。					
目標	区連携会議の開催			R7 目標	R6 実績	
				2 回	2 回	

令和 7 年度事業シート

No.	21	事業名	障害者の地域生活支援		区分	継続
担当課	福祉課		関係部署（所）	総務課、区民福祉課、保健予防課、社会福祉協議会		
事業目的	障害のある方が安心して地域で暮らせる環境づくりのため、障害福祉に関する事例検討や災害準備を進める。					
事業内容	1 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 障害福祉サービスや権利擁護等にかかる障害福祉に関する事例検討会や事業者向けの勉強会を行う。 2 災害準備のための普及啓発活動の実施 『私の防災ノート』（中川区災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック）等を利用した講座の開催等により普及啓発を行うほか、地域の総合防災訓練に参加したり、中川消防署と合同で火災図上訓練を実施するなど地域として災害対策を行う。					
目標	① 区自立支援連絡協議会と連携した事例検討会などの実施 18回 ② 私の防災ノート等を利用した講座や火災図上訓練などの実施 3回			R7 目標	R6 実績	
				① 18回 ② 3回	① 16回 ② 3回	

No.	22	事業名	障害の理解の促進		区分	継続
担当課	福祉課		関係部署（所）	総務課、区民福祉課、保健予防課、社会福祉協議会		
事業目的	広く市民に向けて障害理解の普及啓発を図ることを目的とし、障害のある方が直接携わる事業を推進する。					
事業内容	1 チームメッセンジャー事業※の実施 社会福祉協議会の福祉教育などと連携し、区内の小中学校・高校で車椅子体験等の出前講座を実施する。 2 区民まつりへの出展 ボッチャ体験ブースを出展し、区民と障害者やその支援者との交流を深める。 3 授産製品販売の促進 障害のある方が、直接区役所・支所で製品を販売する授産製品販売事業を実施する。					
目標	①チームメッセンジャー事業の実施 6回 ②区民まつりへの出展 1回 ③授産製品販売の実施 130回			R7 目標	R6 実績	
				① 6回 ② 1回 ③ 130回	① 6回 ② — ③ 140回	

※チームメッセンジャー事業：障害に対して正しい理解をもつていただくために、障害のある方やその支援者が区内の学校や地域などを訪れて障害に関する出前講座を行うもの。

令和 7 年度事業シート

施策 2-3 誰もが健康でいきいきと暮らせるまち



No.	23	事業名	区民の健康づくりの推進			区分	継続		
担当課		保健予防課		関係部署(所)	—				
事業目的		区民に対し特定健康診査等（40 歳以上の年 1 回の健康診断）及びがん検診の重要性を周知し、受診率を向上させ、生活習慣病への気づきやがんの早期発見・早期治療に繋げる。さらに、フレイル（心身の活力が低下した状態）予防などの知識を普及し、健康で豊かな生活が送れるようにする。							
事業内容		1　がん検診の普及啓発・がん教育の実施 子育て中の母親や高齢者の集まるサロンなどで、がん検診受診等の積極的な啓発・案内を行う。また、乳がん検診の実施時に併せて乳がんに関する講座を開催し、乳がんモデルを用いたブレスト・アウェアネス（乳房を意識する生活習慣）の紹介等を行う。 2　健康教室の実施 運動機会の少ない子育て中の母親や、フレイル予防が必要になってきた高齢者など、幅広い年齢層の方々が参加できる健康教室を開催する。 3　健康相談の実施 区民まつりやイベントなどで健康相談や血圧測定・推定野菜摂取量などの測定を行うことで市民の健康相談ニーズに応え、生活習慣病やフレイル予防に繋げていく。							
目標		①がん教育（検診普及啓発、乳がん講座等教育）の実施 ②健康教室の実施 ③出張健康相談の実施				R7 目標		R6 実績	
						①　24 回 ②　18 回 ③　　3 回		①　20 回 ②　17 回 ③　　3 回	